

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2017・5月号

移転10周年 黒字化をめざし、点検・改革を進める！ 「破天荒」とは、どんな意味？

理事長 細野祐治

「破天荒」の意味は、①豪快で大胆な様子、②誰も成し得なかったこと、どっちでしょうか。

正解は、②が本来の意味、①が現在よく使われている意味です。ですから、どちらも正解なのですが、この混乱は、本来の意味を忘れてしまった現代人が原因です。なぜ、今この「破天荒」という言葉を取り上げたのかと言えば、現在の石川学校生協に必要な言葉だと思うからです。赤字からの脱却は、今まで誰も成し得なかった取り組みです。そしてそれを実現させるには、豪快に大胆に実行する必要があるからです。2017年度も5月に入ります。黒字化を目指し、利用高割戻を早期に実現させるためのご協力をお願いします。今までより月1000円多くご利用ください。



2016年度 976万円の赤字でした。それでも計画より512万円改善！
(学校生協の商品をあと1,000円多く買ってくださいますキャンペーン継続中)

石川県学校生協の2017年3月末現在の経常剰余金は▲976万円です。剰余目標は▲1,488万円で512万円改善しています。前年度は、▲2,440万円でしたから、大幅な改善と言えます。黒字ラインが少し見えてきたといった状況です。これは「今までよりも月1000円多く利用してください」キャンペーンの成果とほぼ同額です。みなさんのご利用本当にありがとうございました。

そして、何かを買いたいと思った時には、まず、学校生協で買えないかを思い浮かべて下さい。十分間に合うものがあります。ご利用、よろしくお願い致します。あなたの学生協です。

学校生協 虹の誓い 「信頼・安心・安全・適正・平等・協働・貢献」 7色の虹



石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

一 学校生協と私 一 常務理事 折戸 正英

昨年からは、娘夫婦と孫2人の期間限定同居生活が始まりました。我が家の生活は一変しました。不規則な介護勤務の義息子と、3時間ごとの孫の泣き声で毎日が寝不足の状態です。食事に関しては、生協のフレッシュ共同購入の注文数が急上昇しています。その結果、安心安全な生協商品が食卓に毎日あふれています。とくに、孫の食は有機米から県内産の野菜・近海の魚とこだわりの生協商品です。今では、週1回のフレッシュとあわせてコープの店舗に通っています。安心安全な食品を利用している私ですが、忘れられない事件があります。2008年の「冷凍餃子」です。安くもない商品を生協と信用して買っているのよ！（組合員の声）今でも忘れることができない事件です。二度と同じことは繰り返さない。組合員の生活を守り要望に応える。餃子事件を教訓に、毎日コツコツ組合員の信頼を取り戻すため頑張ります。

編集後記

野菜だより

5月は、いろいろな野菜を露地に定植する時期です。なす・キュウリ・トマト・ズッキーニ・ピーマン・万願寺唐辛子・メロン・かぼちゃ・里いも等、本当に多くの種類があります。どんな苗を選ぶかですが、私は、高くても「接ぎ木」苗をおすすめします。苗が収穫量を決めます。苗は値段で選ぶものではありません。丈夫で、しっかりとした苗を買うことが大切です。それともう一つ大事なことです。それは、5月でも野菜にとっては寒いことです。家で暖房機を使っている間は、野菜には覆いをかけてください。暖房機をしまったら、覆いを取るくらいがちょうど良いと思います。

◇ほその